

鉱山町 いくしな

相川金銀山まちあるきマップ

上町 編

相川はかつての鉱山町です。約400年にわたり金銀山を支えてきました。



イラスト:あわたさちこ

相川上町地区の散策マップです

鉱山町相川には、上町と下町、寺町などの地区があります。

「しな」とは「ゆっくり」「のんびり」という意味の佐渡の方言です。

鉱山町相川

約400年前、相川金銀山の発見を契機に大規模な鉱山開発がはじまり、海と山の狭間に鉱山町相川が誕生しました。鉱山は平成元年(1989)に休山しましたが、鉱山に係る遺跡や建物、段丘を活かして形成された鉱山町の独特なたたずまいは、現在も継承されています。

重要文化的景観「佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観」

相川市街地一帯とその周辺にある鉱山の遺跡や建物を含むエリアは、重要文化的景観(国の文化財)に選定されています。文化的景観とは、土地に人が暮らし、生活や仕事を営むなかで、その地域の自然や地形を巧みに利用して生み出されてきた景観のことをいいます。



上町への行き方

きらりうむ佐渡P駐車場から 徒歩15分くらい → 長坂(石段) → 上町
「史跡佐渡金山」付近のP駐車場から 徒歩5分くらい → 万照寺 → 上町

鉱山町から眺める海岸風景

段丘を活かしてつくられた鉱山町には坂道が多く、いたるところで素晴らしい風景を見渡すことができます。



大間港
明治25年に築かれた鉱山のための港の跡。夕日に浮かび上がる港にうっとりします。



上町から
上町には夕日スポットがたくさんあります。建物をヒントにこの風景を探してみてください。



雪の日の長坂から



上町・佐渡奉行所への車道
季節や時間によって異なる海と空の表情。同じ景色はひとつとしてありません。



春日崎

江戸時代の灯明台がある岬からは広大な海だけでなく、鉱山町のすべてを見渡すことができます。

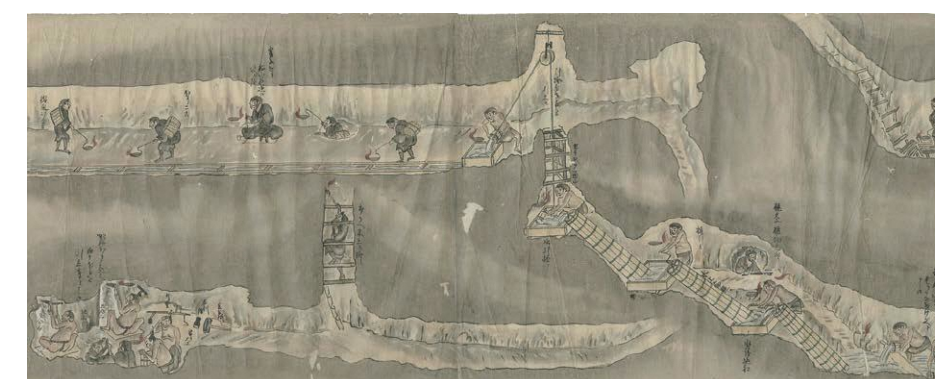
これらの風景画はすべて版画で、相川在住の渡部義光さんの作品です。佐渡には版画愛好家が多く、上町には旧裁判所の建物を活用した「版画村美術館」があります。

鉱山町相川のおゆみ

江戸時代



相川町絵図(18世紀中頃)
地割や道の配置、町名などは今とほとんど変わりません。

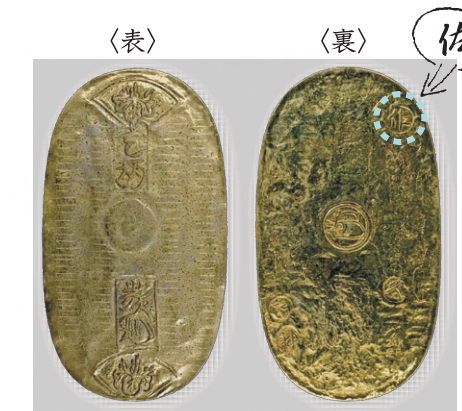


佐渡の国金堀ノ巻(江戸後期)
鉱石の採掘から小判製造までを描いた絵巻です。鉱山が稼働していた約400年の間に掘られた坑道の長さを全て合わせると400kmほどになります。

鉱山町相川は、江戸時代初期の鉱山開発にともない誕生しました。鉱山を支えた人々の生活は採掘場にほど近い山中ではじまり、その後、山から海辺へと尾根伝いに展開しました。
金銀山が発見されて間もない慶長8年(1603)、佐渡代官の久保長安は、相川で大規模な町立てを行いました。段丘先端に佐渡奉行所が置かれ、金銀山と奉行所を結ぶ主要道が整備されました。道沿いには町家が所せましと並びました。もともと海辺の寒村だった相川は、江戸時代初期の鉱山の最盛期には5万人余の人が暮らす大都市へと変貌しました。
今日の相川は、江戸時代のまちづくりが基礎にあります。いたるところで往時の名残りを目にすることができます。



天保年間相川十二月月 七月盆踊
相川の特徴ある年中行事などを描いた絵図です。鉱山の繁栄ぶりがうかがえます。

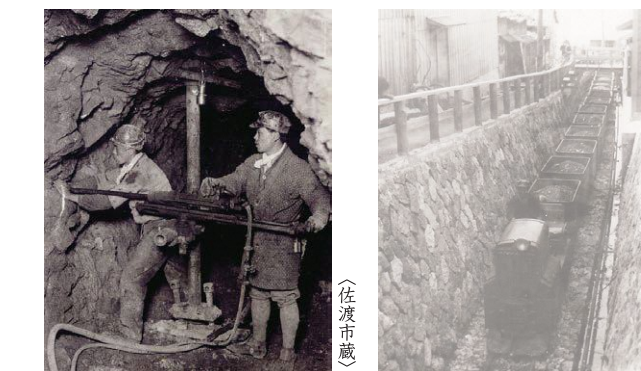


享保佐渡小判(複製)
江戸時代に佐渡で製造された小判で、裏面には佐渡の「佐」の文字がみえます。

近代



鉱山の施設が置かれた北沢地区
月間5万tの鉱石処理が可能だった「浮遊選鉱場」をはじめ、当時の最先端技術を駆使した施設群が置かれました。鉱山の大縮小とともに主要施設は解体されました。



削岩機による坑内作業(大正~昭和初期) **まちなかを走るトロツコ(昭和初期)**

相川金銀山は、維新後は佐渡鉱山として明治政府に引き継がれ、明治29年(1896)に三菱合資会社(当時)に払い下げられました。そこでは鉱山の近代化が図られ、鉱山町にも大きな変化がみられました。
平成元年(1989)の鉱山休山後は、鉱山施設が観光資源のひとつとなっています。

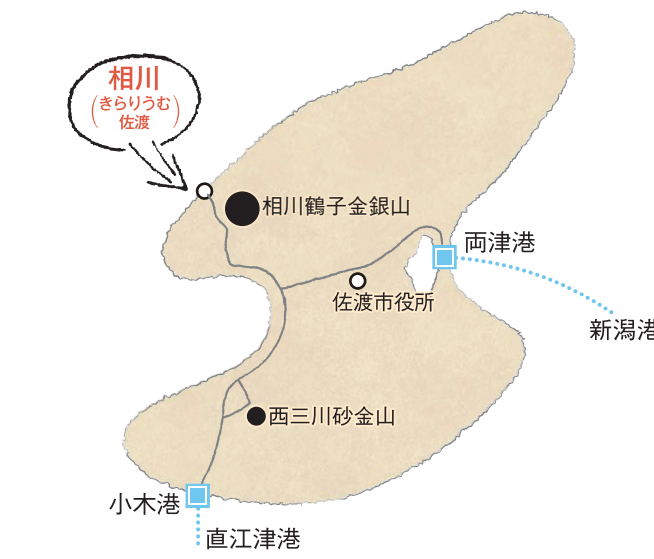
相川(きらりうむ佐渡)へのアクセス

両津港から
車で約50分(約30km)
路線バス「本線・相川行」に乗車、「きらりうむ佐渡」バス停下車
小木港から
車で約75分(約45km)
路線バス「小木線・佐和田方面行」に乗車、「佐和田バスステーション」で「本線・相川行」に乗換え、「きらりうむ佐渡」バス停下車

佐渡相川ふれあいガイド ※要予約
まちあるきのガイドです。(一社)佐渡観光交流機構 相川支部
電話:0259-74-2220

佐渡金銀山めぐりのおともに
佐渡金銀山ナビ
1.見学スポットの位置表示
2.スポットで集めるにゃんじースタンプ
3.普の様子わかるARポイント
iOS Android

「江戸眼鏡」で佐渡の街歩きショートムービー公開中!
江戸時代の金銀山や相川の文化をCGで再現した現在の風景と照らし合わせながら、お楽しみください!
QRコード: 鉱山町相川編, 金銀山編, 金の道編



2023年3月発行
発行:佐渡市観光振興部世界遺産推進課(きらりうむ佐渡)
〒952-1562 新潟県佐渡市相川三町目浜町18番地1
TEL:0259-74-2215 FAX:0259-74-2223
E-mail:k-goldmine@city.sado.niigata.jp

上町 かみまち
江戸時代は鉱山町の中心部で、近代まで多くの鉱山関係者が暮らしていました。地形を活かした道や石垣、建物がつくる町並みには、400年間の歴史が詰まっています。

見どころ 坂道と石垣

段丘にあるので坂道や段差が多いのが特徴です。江戸時代の石垣をはじめ、先人の知恵が詰まった各時代の石垣がみられます。坂道にもそれぞれ歴史があり、ユニークな名前がついています。



坂道の両側に並ぶ町家（昭和期の長坂）
（佐渡市蔵）

見どころ 町家と社宅

江戸時代からの伝統を受けつづ「町家」と、近代以降に佐渡鉱山が労働者のために設けた「社宅」が入り混じっているのが特徴です。町家は江戸から昭和まで様々あり、その時々流行も取り入れられました。社宅は、幹部職員用「戸建型」と一般職員用「長屋型」に分かれます。



昭和期の町家（佐渡市蔵） 長屋型の社宅街（昭和10年代）
（佐渡市蔵）

見どころ 町名

江戸時代の初め、相川では職業別に町が割り当てられました。今の相川の町名の多くは江戸時代からのものです。坑夫（江戸時代には大工と呼ばれた）が集住した「大工町」、鉱山経営を行った山師の名がついた「新五郎町」、商家が立ち並んだ「京町」など、当時の相川の様子がかがえます。

マップの見方

まちあるきの案内看板

人の背丈ほどの大きさです。所々にあります。

上町ルート とある看板が目印。現在地を知りたいときは、看板の番号をマップで確認！

※マップには「**鉱山ルート**」の看板も一部含まれています。

屋根の種類

- 焼き瓦 ← よく見かける黒い瓦。今の主流。
- セメント瓦 ← 灰色の瓦。戦後に大量生産された。昔は、相川の浜砂を使って製造していた。
- その他

たまにある赤っぽい瓦：今は製造されていない佐渡産の古い焼き瓦。手作りなので色合いに味があります。

いろいろ

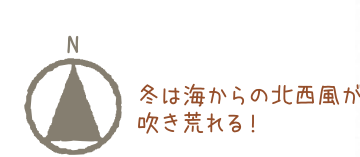
- 坂道
- 地形がよく分かる石垣
- 大きな車道
- 散策路

撮影スポット

- 石垣・石積スポット ← 坂道の多い相川のまちづくりの秘訣がここに!!
 - 室内も見学OK
 - 飲食店
 - 雑貨・工芸品など
- 相川ならではの町家や鉱山社宅を活かした店ばかり。

まちあるきの注意点

- *坂道や階段多し！歩きやすい靴がよいです。
- *住宅街では住民の方への配慮を忘れずに。私有地への無断立入りはやめましょう。
- *猫によく遭遇します。エサはあげずに、ほどよい距離で見守ってあげてください。
- *細い道が入り組んでいます。車もよく通るので注意！



江戸時代の佐渡奉行所
（大安寺蔵）

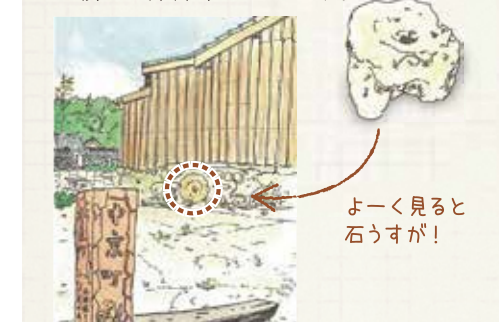


レンガ塀の通り

明治時代のレンガ塀です。塀の向こうにあるのは同時代に建てられた裁判所で、今は美術館として使われています。通りの奥に見えるのは鐘楼で、江戸時代は鐘で時刻を知らせていました。今も地元の人々が朝夕に鐘をついています。

「かくれ石うす」を探せ!

鉱石をすり潰すための石うすが、石垣や石積みに再利用されています。



所々にある標柱に町名説明あり。標柱は、佐渡を代表する無名異焼。上町にも窯元あり。

海側 ← 道なりに歩いておおよそ10分(約500m) ※坂道多し → 山側



旧相川税務署
明治22年から昭和45年まで使用されていました。(今の建物は昭和6年建築です。)



長坂
上町と下町をつなぐ坂道です。名前は正徳3年(1713)から変わっていません。



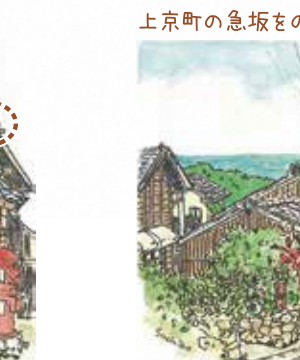
相川ふれあい集会所(旧鉱山住宅)
今は地元の集会所ですが、昔は鉱山の幹部職員の社宅でした。



京町の家並み
江戸時代に京の西陣織を扱った店があったことが町名の由来です。



旧相川裁判所
昭和29年から昭和47年まで使用された木造の拘置所です。



相川六右衛門町
この先、迷子になるかも...



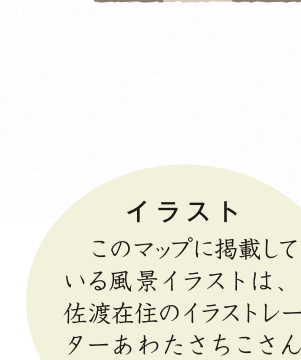
相川大床屋町
坂道下ってすぐ



相川左門町
この先、迷子になるかも...



相川下京町
相川下京町～相川上京町は、「京町通り」と呼ばれています。



相川中京町
地形がわかる



相川米屋町
地形がわかる



相川味噌屋町
地形がわかる



相川長坂町
地形がわかる

ちょっと昔の上町



（古写真はすべて佐渡市蔵）

路線バス(本線)の停留所です。運行日時にご注意ください。

イラスト
このマップに掲載している風景イラストは、佐渡在住のイラストレーターあわたさちさんの作品です。

0 50m 100m

現役寺町。中寺町と下寺町には鉱山に縁の深い寺院が多い。

こんなところから道遊の割戸が!

こんなところから道遊の割戸が!

車道付近には昔、鉱石を運ぶトロッコが走っていた。

道なりに歩いておおよそ8分(約500m)

山側

「佐渡金山」(観光坑道)・佐渡金山第3駐車場にもバス停あり

ここから佐渡金山第3駐車場へ約5分

ここから佐渡金山第3駐車場へ約5分

敷道注意
上寺町へ
寺町の遺跡。寺院の跡が残る。

無宿人の墓
江戸時代に相川の鉱山で働いていた「無宿人」の墓。

北野神社

高田家住宅

相川六右衛門町

相川大床屋町

相川中京町

相川米屋町

相川味噌屋町

相川長坂町

相川下京町

相川上京町

相川新五郎町

相川左門町

相川大正町

相川西坂町

相川西坂町

相川西坂町

相川西坂町

相川西坂町

相川西坂町

相川西坂町

相川西坂町

相川西坂町

相川西坂町

相川西坂町

相川西坂町